

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
UAVと水域可視化処理による河川地形の新しい計測手法の開発（研究期間：H27年～H28年）	岐阜大学 沢田 和秀	C
<研究概要> <p>本研究は、電動小型UAV（無人機）による写真測量の適用範囲を拡大することにより、河川管理に資する付加価値の高い調査手法を開発する。画像処理した写真に写真測量技術を適用することにより、従来は困難であった水面下の地形形状等を計測する技術を確立する。さらに、得られた高精細な地形・画像情報に基づき河床表層材料の粒度分布など河川管理に資する情報の取得を検討する。</p>		
<事後評価コメント> <p>UAVによる河床表層の粒度分布を推定する技術が開発されており、一定の研究成果があったと言える。また、中間評価時点の委員会のアドバイスに真摯に対応して困難なテーマに忠実に取り組んだ姿勢は評価される。 しかしながら、結果として、水面下の河床形状の計測については実用化に資する技術の確立には至らなかった。ただし、その困難性を明らかにした点については、一つの成果と考えられる。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い